

隊内生活体験支援

出雲

発行所 出雲駐屯地
広報室



出雲駐屯地は、4月19日から21日まで、島根県内企業の隊内生活体験を支援した。

新社員の入社に伴い、団体行動の基礎と研修を兼ねて自衛隊に生活体験を希望する企業が増えていくなか、今回は2泊3日の隊内における集団生活が実施された。

参加したのは株式会社中筋組、まるなか建設株式会社、株式会社ナカサン、ヤンマーキヤステクノ株式会社、日本製紙株式会社ケミカル事業本部、福岡商事株式会社、日本海信用金庫、株式会社イワタクリエイト、美保鉄筋株式会社、株式会社ソノの10社から合計48名（うち女性11名）で、第13偵察隊4名、第304施設隊2名合わせて6名の隊員が訓練を担当した。

初日は基本教練・営内服務と自衛隊員の基本となる教育訓練が実施された。

2日目は徒步行進訓練を実施し、出雲市の著名なスポット「出雲ドーム」「出雲大社」を巡る約21kmのコースを行進した。普段歩かない距離に苦しいながらもお互いを励ましあって全員が完歩した。最終日は体力検定が実施され、疲労を残した状態であったが全員が最後までやりきる事ができた。

3日間という短い期間ではあったが、参加者達は普段とは違う団体内生活に戸惑いと不安を感じながらも、互いに協力することや集団における規律の重要性等を体得して駐屯地を後にした。

また、出雲駐屯地としては、今後もこれらの支援を通して自衛隊に対する親近感の醸成及び防衛基盤の育成に寄与していくこととしている。

▶基本教練を行う参加者



▶協力してベッドメイキング



▶行進訓練を行う参加者



▶3,000m走スタート!



山陰モーターフェス 2017

くくクルマに触れる2日間、
に併せ自衛隊車両を展示 !!

1等陸尉 玉木啓一

出雲駐屯地広報室長である私以下5名で、平成29年4月15日(土)くにびきメッセ(松江市学園南1丁目2-1)で16年振りに行われた山陰モーターフェスにおいて装備品展示を行った。天候にも恵まれ約7,000人の来場者に対し、第13偵察隊は87式偵察警戒車、軽装甲機動車及び偵察用オートバイを展示するとともに、自衛隊島根地方協力本部が、ミニ制服の試着及びグッズ配布を行いました。

この装備品展示を通して自衛隊に親近感を持つて頂くことができました。また、緊張度を増す北朝鮮情勢を背景に多くの声援を頂戴致しました。来場者の中から、共に国防の任に就く方が居られることを期待しております。また、多くの協力者を得ることが出来たと確信しております。

今後も、広報活動を通して自衛隊に親しんで頂くとともに、一人でも多くの方に協力者となって頂くよう活動してまいります。ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。



▲展示会場の様子



▲ミニ制服を着てハイ!ポ〜ズ!



▲展示車両の前で記念撮影する来場者

平成29年度方面隊統制演習場 春季集中整備

第304施設隊

第304施設隊、石川2佐以下44名は、4月11日から4月20日までの間平成29年度方面隊統制演習場春季集中整備に参加し、日本原演習場における訓練基盤の維持を図り、長期安定使用に寄与した。

隊の主な任務は、約56kmに及び幹線道路整備であり、ダンプによる砕石1,000m³の運搬、敷均し、油圧による不陸修正及びグレーダー、タイヤローラーによる378,600m²の路面成形、転圧の各作業を行った。

整備期間中は数日間雨天であったが、全隊員が作業規律を守り、事前排水処置、前倒し作業により無事故で所命任務を完遂することができた。

本演習場整備の場を活用し、ベテラン操作員の指導のもと若年の操作員の施設機械操作及び車両操縦能力の向上を図り、各操作員に自信を付与する事ができた。また、他職種部隊に対し、水堰構築等に関する技術指導を行い方面隊の施設技術力の向上に寄与した。



▲タイヤローラーによる道路転圧



◀油圧ショベル道面成形

益田まつり支援

出雲駐屯地は、自衛隊島根地方協力本部の依頼を受け、4月16日に益田市駅前商店街路で実施された「第60回益田まつり」を支援した。

まつりの催しの一つである「働く車展示」コーナーに軽装甲機動車と偵察用オートバイを展示した。広報室長(玉木1尉)以下3名の隊員と自衛隊地方協力本部・地元協力者が協力して来場者に説明及びミニ制服試着等を行った。

当日会場に訪れた来場者は約3万名で、多くの家族連れ等が普段見慣れない陸上自衛隊の装備品に興味を持って頂き展示車両の周りは大いに賑わった。

支援を通して自衛隊への関心と理解を深めさせるとともに、真摯な広報し、防衛基盤の育成を図ることができた。



転入部隊長

出雲駐屯地業務隊

2等陸佐 俵 浩明



この度、第28代出雲駐屯地業務隊長に就任しました俵2佐です。

出雲市及び近傍の印象は、出雲大社を初め旧跡が点在し、古来より日本人の精神、風習、生活様式に大きな影響を及ぼしてきた歴史ある地域、という印象です。

次に、出雲駐屯地及び隊員は、駐屯地司令要望事項である「郷土に根ざす出雲駐屯地」を様々な場で実践し、近隣住民等

隊長要望事項は、2点「積極支援」「個人の充実」を掲げ、隊員を指導しています。特に、「積極支援」については、業務隊の任務である、駐屯地各機能の維持運営を通じた駐屯地所在部隊への万全な隊務基盤の提供となるものであり、短期のニーズには速やかに、中期のニーズには安易に妥協することなく目標を下げずに綿密な計画を立てて応じる様、指導していますので、各部隊及び隊員の皆さんにおかれては引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

生年月日 昭和41年2月13日(51歳)
 入隊年月日 平成3年3月26日
 出身地 熊本県熊本市
 趣味・嗜好 読書 登山
 主要部隊歴
 平成3年 陸上自衛隊入隊(幹部候補生学校)(前川原)
 平成4年 第71戦車連隊(北千歳)
 平成10年 第2偵察隊(名寄)
 平成12年 第11師団司令部 法務官室(真駒内)
 平成14年 第1次東子モール施設群(東子モール)
 平成14年 第11師団司令部 法務官室(真駒内)
 平成15年 北部方面総監部 人事部(札幌)
 平成17年 西部方面総監部 総務部(健軍)
 平成18年 西部方面総監部 法務官付(健軍)
 平成19年 統合幕僚監部 運用部 運用第2課(市ヶ谷)
 平成20年 幹部候補生学校(前川原)
 平成23年 自衛隊宮崎地方協力本部(宮崎)
 平成24年 西部方面総監部 人事部(健軍)
 平成26年 第15後方支援隊 副隊長(那覇)

第304施設隊

2等陸佐 石川 仁



この度、第10代第304施設隊長を拝命した石川2佐です。

出雲市の印象は、石州瓦の美しい情緒溢れる街並みと宍道湖や中国山地に囲まれて広がる田園地帯に親近感を覚えるとともに、「出雲は弁当忘れたも傘忘れるな。」と比喻されるくらい雨の多い土地柄だと聞いておりましたが、晴れ間も多く住みやすい地域と感じているところです。

施設隊の隊員は、控えめな姿勢の中に、秘めたる熱い思いを抱いている

この度、3月23日付で第1直接支援隊長に就任した上奥1尉です。

西方勤務が24年と長く、初めての中部方面隊勤務で不安半分か少し半分で出雲の地へ来ました。自然と町の調和が取れたすばらしい環境の地で勤務できることをうれしく思います。

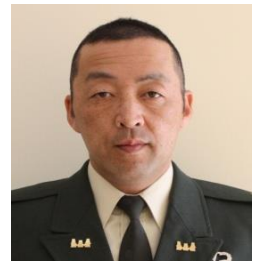
隊長着任にあたり隊に要望する事項は「総和」であり、一人はみんなのために、みんなは一人のためにをモットーに隊として一輪の和を作り任務に邁進したいと思っております。

これは公にわたり、駐屯地司令をはじめとする各部隊の隊員皆様にお世話になるかと思っております。精一杯がんばりますのでご協力ご指導をよろしく申し上げます。

生年月日 昭和50年3月21日
 入隊年月日 平成11年3月22日
 出身地 高知県
 趣味・嗜好 スキー、バイクツーリング
 主要部隊歴
 平成11年 第10施設群(船岡)
 平成14年 第2次東ティモール派遣施設群(ディリ)
 平成15年 第10施設群(船岡)
 平成16年 第2施設団本部(船岡)
 平成17年 第10施設群第326施設中隊長(船岡)
 平成19年 施設学校(勝田)
 平成23年 第4施設団本部(大久保)
 平成25年 陸上幕僚監部装備部施設課(市ヶ谷)
 平成27年 陸上幕僚監部防衛部施設課(市ヶ谷)
 平成28年 第12施設群本部(岩見沢)

第104施設直接支援大隊 第1直接支援隊

1等陸尉 上奥 通



私はオールマイティに何でもできる人間はそうそういないと思っております。一部の能力が高かったり平均よりも劣る能力であったりと、それが普通の人間だと思えます。これは部隊にも同じことが当てはまり、被支援部隊の能力は我が隊にはありませんが、我が隊には被支援部隊にない能力がある。その能力をもって部隊活動に貢献できると考えます。

これから公私にわたり、駐屯地司令をはじめとする各部隊の隊員皆様にお世話になるかと思っております。精一杯がんばりますのでご協力ご指導をよろしく申し上げます。

生年月日 昭和48年8月18日
 入隊年月日 平成4年4月1日
 出身地 鹿児島県
 趣味 ツーリング、ランニング
 主要部隊歴
 平成4年 第2施設群第321施設中隊(飯塚)
 平成13年 同 第322施設中隊
 平成14年 同 第366施設中隊
 平成17年 第2施設群本部
 平成20年 第2施設群第366施設中隊
 平成22年 第2施設群本部
 平成26年 西部方面総監部人事部(健軍)

濱田護国神社 慰霊大祭

4月12日、尊い命を国のために捧げられた二万三千柱の御霊を慰める濱田護国神社慰霊大祭に出雲駐屯地を代表して駐屯地司令(安河内2佐)が参列した。

また、濱田護国神社の要請により、第13偵察隊のラッパ手2名、松岡2曹、坂根士長がラッパ隊として参加協力し、黙禱時に「国の鎮め」を吹奏した。

御英霊に対して哀悼の誠を捧げるとともに、今日の平和を引き続き維持していくと改めて決意を強くした一日となった。



▲玉串拝礼する駐屯地司令



▼ラッパ吹奏する隊員

人事往来

転出

- 部隊長
 - ▽業務隊
 - 2等陸佐 星野 正行
(第11旅団司令部Ⅱ真駒内)
 - ▽施設隊
 - 2等陸佐 渡邊 岳央
(中部方面總監部Ⅱ伊丹)
- 幹部
 - ▽施設隊
 - 3等陸佐 福田 浩之
(施設学校Ⅱ勝田)
 - 3等陸尉 大石 哲平
(北部方面施設隊Ⅱ南恵庭)
- ▽偵察隊
 - 1等陸尉 日野 豊
(自衛隊島根地方協力本部Ⅱ松江)
 - 1等陸尉 永尾 英文
(戦車教導隊Ⅱ富士)
 - 2等陸尉 宝保 竜平
(自衛隊札幌地方協力本部Ⅱ札幌)
 - 2等陸尉 清水 智之
(第13旅団司令部付隊Ⅱ海田市)
- 陸曹・陸士
 - ▽施設隊
 - 陸曹長 武田 宜也
(日本原駐屯地業務隊Ⅱ日本原)
 - 2等陸曹 井川 通
(第14施設隊Ⅱ徳島)
 - 3等陸曹 佐々木 結
(第305施設隊Ⅱ三軒屋)
 - 3等陸曹 矢野 豪
(第14施設隊Ⅱ徳島)
 - 3等陸曹 澤 克治
(第7施設大隊Ⅱ東千歳)
- ▽偵察隊
 - 1等陸曹 吉井 和宏
(出雲駐屯地業務隊Ⅱ出雲)

転入

- 1等陸曹 山本 慎一
(第8普通科連隊Ⅱ米子)
- 2等陸曹 門脇 克未
(第6偵察隊Ⅱ大和)
- 3等陸曹 本間 祐二郎
(自衛隊広島地方協力本部Ⅱ広島)
- ▽基地通信隊
 - 3等陸曹 石丸 貴之
(第312基地通信中隊米子派遣隊Ⅱ米子)
 - 3等陸曹 植山 雅之
(第312基地通信中隊Ⅱ海田市)
- ▽防衛事務官等
 - 行(一)3 柳楽 裕之
(米子駐屯地業務隊Ⅱ米子)
 - 行(一)2 橋爪 伸浩
(信太山駐屯地業務隊Ⅱ信太山)
 - 行(一)1 瀧谷 優紀
(自衛隊島根地方協力本部Ⅱ松江)
- 部隊長
 - ▽業務隊
 - 2等陸佐 俵 浩明
(第15後方支援隊Ⅱ那覇)
 - ▽施設隊
 - 2等陸佐 石川 仁
(第12施設群Ⅱ岩見沢)
- 幹部
 - ▽偵察隊
 - 3等陸佐 坂本 淳一
(第13旅団司令部Ⅱ海田市)
 - 1等陸尉 國本 哲史
(自衛隊札幌地方協力本部Ⅱ札幌)
 - 2等陸尉 小沢 秀也
(戦車教導隊Ⅱ富士)
 - ▽施設隊
 - 1等陸尉 大西 雅樹
(幹部学校Ⅱ目黒)

- 陸曹・陸士
 - ▽偵察隊
 - 3等陸曹 佐藤 浩介
(第6偵察隊Ⅱ大和)
 - ▽施設隊
 - 2等陸曹 森 俊宏
(第13施設隊Ⅱ海田市)
 - 2等陸曹 古畑 貴士
(関東補給処Ⅱ霞ヶ浦)
 - 2等陸曹 前島 絵美
(中部方面總監部付隊Ⅱ伊丹)
 - 2等陸曹 山本 健一
(第13施設隊Ⅱ海田市)
 - 3等陸曹 古田 裕介
(第4施設団本部付隊Ⅱ大久保)
 - 3等陸曹 立石 智之
(第14施設隊Ⅱ徳島)
 - ▽業務隊
 - 陸曹長 佐々木 孝晴
(第17普通科連隊Ⅱ山口)
 - 1等陸曹 吉井 和宏
(第13偵察隊Ⅱ出雲)
 - 2等陸曹 横路 公大
(第13後方支援隊Ⅱ海田市)
 - ▽基地通信隊
 - 1等陸曹 陶山 章
(第312基地通信中隊米子派遣隊Ⅱ米子)
 - ▽防衛事務官等
 - 行(一)2 熊岡 諒
(山口駐屯地業務隊Ⅱ山口)
 - 行(一)1 中島 春菜
(新規採用)
 - 行(一)1 袁原 拓巳
(新規採用)

曹友会活動

春の交通安全運動に参加

業務隊

2等陸曹 鷲見温弘

出雲駐屯地曹友会は4月6日から15日までの間、「全国春の交通安全運動」に参加した。今期の交通安全運動では、業務隊及び諸隊連合の分会を中心に熱心な活動を行った。

期間中は退庁時にあわせて正門前でポケットティッシュ配りを行うとともに、当駐屯地からの交通事故ゼロ・交通違反者ゼロを願って、「お疲れ様でした。気をつけてお帰り下さい。」と温かい声かけを実施した。

また、交通安全期間は終了したが、今後七年間を通じた無事故・無違反を継続できるよう心がけていきたい。

